

# 平成29年度 高千穂町立押方小学校 学校評価書

本年度の学校経営ビジョン 『自他の生命を大切に、自信をもって自分のよさを発揮し、主体的に生きる「やさしさ」「かしこさ」「たくましさ」をもった児童を育成する。』

( 4段階評価    たいへんよい=4点    おおむねよい=3点    もう少し=2点    改善が必要=1点 )    平均 2.5 点    ※(4+3+2+1)÷4=2.5

| 重点目標                  | 主な達成手段  | 方策・手立て  | 自己評価 |     | 結果の考察・分析及び改善策等(□…成果、■…課題)   | 学校関係者評価コメント<br>◇…プラス面、◆…マイナス面、☆…思いや願い  |
|-----------------------|---|---|------|-----|---|--|
|                       |   |   | 項目別  | 総合  |   |  |
| 1 基礎学力の定着と学習意欲の向上     | ① 生徒指導の3機能を取り入れた授業実践を行い、児童全員が「分かる・できる」授業づくりに向けて、日々の授業改善を図る。 | ○ 児童相互の交流を重視した学習活動や確実な習熟を図る時間の設定、認め・誉める指導の充実等による授業改善。<br>○ 教員相互による授業参観、及び授業研究会の実施。        | 3.3  | 3.1 | □ 習熟時間の設定や認め・誉める指導等の充実、担任が一人1回以上を公開し職員で授業改善の方策を研究した結果、児童の授業に対する満足度が高まった。<br>■ 今後も児童全員が「分かる・できる」授業改善への研究に努め、学力向上を目指していく。                                     | ◇ 基礎学習については、学校での指導で十分だと思う。子どもたちの意欲を向上させる指導だと信じている。   |
|                       | ② 保護者との連携のもと、家庭学習の定着、読書活動や「家読」の推進を図る。                       | ○ 家庭学習掲示資料の配付、及び参観日、個人面談等における家庭学習協力への呼びかけ。<br>○ 「図書通信」の発行(毎月)による家読(りょく)の啓発。               | 2.9  |     | □ 保護者による宿題等の確認や見届けについては、学年が上がるにつれて関心が低くなる傾向がある。家読・親子読書についても評価が低い。<br>■ 家庭教育学級で話題に取り上げる等、学力向上の面からも家庭学習や読書についての保護者の関心を高める工夫・改善が必要である。                         |  |
| 2 基本的な生活習慣の定着と豊かな心の育成 | ① 「あいさつ」「無言清掃」等について全職員で徹底した指導を行い、基本的な生活習慣の確立を図る。            | ○ 毎月の「あいさつ立番」、年5回の「清掃指導週間」を中心とした指導の徹底と常時指導による習慣化。   | 3.3  | 3.2 | □ 「あいさつ」の実践意欲が高まり、昨年度より良くなっている。「無言清掃」についても児童・職員の評価は高い。<br>■ 大人も子どもも誰もが気持ちよいあいさつを交わせる学校・家庭・地域づくりを目指す。学校内外で身の回りの整理整頓に気を配れるような指導が必要である。                        | ◆ 「あいさつ」は、自分から先に行うことについて、少し欠けている。<br>◆ 「あいさつ」については、まだまだではないだろうか。<br>◆ 誰にでも大きな声・元気な声で言って欲しい。地域の人達と学校の先生達への「あいさつ」との差を感じる。<br>◆ 並ばずに広がって登下校する姿が見られる。<br>☆ 生命の大切さ、子ども達の豊かな心の指導について、家庭・家族もしっかり話し合い、みんなが「幸せな心」でいたいと思う。 |
|                       | ② 自他の生命を大切に、思いやりあふれる心を育む道徳教育、人権教育の充実を図る。                    | ○ 道徳や学級活動等の授業の充実、及び朝のボランティアや地域学習、ふれあい交流会等を通じた思いやりあふれる心の育成。<br>○ 「自分の命は自分で守る」ことについての指導の徹底。 | 3.4  |     | □ 地域の方との連携を図った学習等の充実により児童は地域の方のやさしさや思いやりに触れ、児童の思いやりや感謝の心に結び付いているものと思われる。また、「自分の命は自分で守る」指導の徹底により、自他の生命を大切にすることができた。<br>■ 今後も地域の方々と連携した学習や交流を継続し、豊かな心の育成に努める。 |  |
|                       | ③ 生徒指導、特別支援教育の充実を図る。  | ○ 互いを理解し、よさや頑張りを認め、いじめや差別のない望ましい人間関係の醸成を図る常時指導の充実。  | 2.9  |     | □ 認め、励まし、称賛を重視した指導で、児童の自尊感情の向上がみられた。<br>■ 時折、児童の心ない言葉も聞かれた。今後も一人一人の児童を認め、教育活動全体での指導やその場その場での指導を大切に、いじめや差別の根絶に努める。   |  |
| 3 体力向上と生活リズムの定着       | ① 「1.3kmウォーク」運動の推進と健康な生活習慣を実践する態度の育成を図る。                    | ○ PTAと連携した「1.3kmウォーク運動」への呼びかけ、及び保健指導週間「すこやか週間」の実施(年2回)、保健便り「やすらぎ」の発行(毎月)。                 | 3.3  | 3.5 | □ 「すこやか週間」や保健便り等の取組の充実により家庭との連携が図られ、「早寝・早起き・朝ご飯」は非常に高い評価である。<br>■ 「1.3kmウォーク」については、今後もPTAと連携した取組を継続し、実践意欲や意欲の高揚を図る。   | ◇ 下押方9名は、「1.3kmウォーク」完全実施できている。たくましく通学している。<br>☆ 「1.3kmウォーク」は、今後とも続けて欲しい。<br>☆ 「1.3kmウォーク」については、評価を限りなく「4.0」に近付けていただきたい。  |
|                       | ② 発達の段階に応じた「弁当の日」の実践を図る。                                    | ○ 年3回遠足の日を「弁当の日」として実施。発達の段階等に応じたコース選択、及び「弁当だより」による周知と「弁当の日レポート」記録による実践意欲の向上。              | 3.6  |     | □ 「弁当だより」や「弁当の日レポート」等「弁当の日」に向けた様々な取組の充実により、児童の弁当作りへの意欲が高まった。<br>■ 今後も、児童の弁当作りへの実践意欲向上に向けた取組の継続・充実を図っていく。  |  |
| 4 信頼される学校づくりと教育環境の整備  | ① 教育に携わる者としての高い倫理観・使命感と協働意識をもった教職員集団づくりを図る。                 | ○ 教職員評価の有効活用と現職教育の充実、所外講師の招へいや校外研修への積極的な参加等による資質能力の向上。<br>○ 風通しのよい職場づくりとコンプライアンス意識の高揚。    | 3.5  | 3.5 | □ 校内外での研修に積極的に参加し、教職員としての資質向上に努めてきた。また、日常的な互いの声かけやコンプライアンス研修等により不祥事防止が図られた。<br>■ 今後もコンプライアンス意識を高くもち、信頼される教職員、信頼される学校づくりに努める。                                | ◇ 地域との協力ができている。<br>◇ 学校通信やホームページで学校の様子がよく分かる。<br>☆ 協力できることは労を惜しまず役に立ちたい。   |
|                       | ② 家庭や地域への積極的な情報提供と教育環境の整備に努める。                              | ○ 学校通信、ホームページ、保健便り、学級通信等の充実と、整理整頓され清掃が行き届いた環境づくり。   | 3.6  |     | □ 児童のボランティア活動や保護者や地域の方々の協力により、常に教育環境が整備されていた。各種通信やホームページにより定期的に学校から情報を発信した。<br>■ ホームページの閲覧者が増加するよう周知方法や内容等の工夫・改善を行う。  |  |